

がある。

環境保全型農業推進事業

Q 支援とPR方法は。

A **産業振興課長** 有機農業を営む方を中心とした有機の会への支援が主である。有機の会は、市内の幼稚園や学童保育室に野菜を出荷しているが、今度、公立の保育所に有機野菜を提供するに際し、仲介等の支援を行っている。

また、有機の会が共通のシールを野菜に貼って出荷することで、本市が支援している有機の会であることのPRにつながっている。

一本松地区地区計画環境整備事業

Q Bブロックの進捗状況は。

A **道路建設課長** 下水道工事は26年度に終了し、道路用地の取得は一部を除き、完了した。

農業大学校跡地活用事業

Q 圏央鶴ヶ島インターチェンジ周辺交通処理検討業務の委託内容と成果は。

A **都市計画課長** 土地利用の変化や交通流動の変化等を踏まえて将来的な交通処理状況の評価するとともに、新たに整備するインターチェンジの形状等を検討するため、交通量の調査・推計、交通処理の検討等を行った。インターチェンジの接続部の形

状は、現段階で想定される交通量であれば、平面処理による形状でも対応が可能であるという結果が出た。今後は、警察などの関係機関との協議や安全性の検証等を行っていく。

運動公園整備事業

Q 第二期第一次整備の10年間で多目的広場Bまでの整備は完了するの。

A **都市施設保全課長** 補助金等を最大限活用し、年次計画に沿って進めていきたい。



小学校の学校図書館

学校図書館資料ネットワーク化推進事業

Q 事業の完了による学校図書館の変化は。

A **学校教育課長** バーコードとスキヤナの活用により、貸出しと返却や蔵書点検がスムーズになった。今後は、蓄積されるデータを学校の図書購入に反映させたり、子どもたちの読書の傾向を

分析して図書教育に生かしたりすることが重要である。

小学校施設管理事業 中学校施設管理事業

Q 校務用パソコン整備の進捗状況と今後の方針は。

A **学校教育課長** 27年度は職員室等の電源を増やすためのコンセントの数、電圧等の電気設備の状況や通信速度等の現状を調査した。1人1台の校務用パソコンの導入を目指したい。

小学校教育振興事業 中学校教育振興事業

Q 楽器の購入の考え方は。

A **学校教育課長** 楽器だけが別枠ということではないが、高額であり、学校とのヒアリングで切実な希望があったため、27年度はふるさと納税の活用により優先して購入した。

特別会計

国民健康保険

Q 低所得者に対する国民健康保険料の軽減の変更とその状況は。

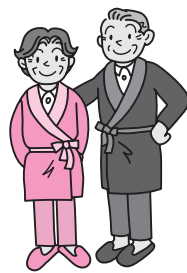
A **保険年金課長** 7割、5割、2割の軽減がある。27年度か

ら5割と2割の適用基準が緩和されて対象が広がった。転入・転出等があるため、正確な比較は難しいが、26年度に比べて該当者数、軽減額ともに増加した。

後期高齢者医療

Q 高額療養費の状況は。

A **保険年金課長** 27年度は、26年度に比べて13・4割と大幅に増えた。25年度から26年度の伸び率との差は10・9割で、近隣市でも10割以上となっていた。



介護保険

Q 介護認定審査会の審査事務量は適正か。

A **高齢者福祉課長** 27年度は1946件で、かなり件数が多い。

一本松地区地区画整理事業

Q 駅南口の駅前広場と一本松駅南口通り線の進捗状況は。

A **区画整理課長** 用地の確保は済んでおり、27年度は広場と道路の詳細設計を行った。また、歩道、側溝、汚水管等についても一部は工事に着手した。29年度は、交差点と駅前広場を整備したい。

特別会計決算	
国民健康保険	
歳入	90億5495万円
歳出	88億2761万円
後期高齢者医療	
歳入	5億4620万円
歳出	5億4421万円
介護保険	
歳入	33億1850万円
歳出	31億3373万円
一本松土地地区画整理事業	
歳入	2億9302万円
歳出	2億2944万円
若葉駅西口土地地区画整理事業	
歳入	2億8348万円
歳出	2億5556万円